

## 会 議 録

会 議 名	平成 28 年度 嵐山町総合戦略検証委員会					
開 催 日 時	平成 2 8 年 7 月 1 5 日（金）	開 会	1 4 時 0 0 分			
		閉 会	1 5 時 5 0 分			
開 催 場 所	嵐山町役場 町民ホール					
会 議 次 第	1 開 会 2 任命書交付 3 町長あいさつ 4 委員紹介、事務局紹介 5 議 題 (1) 会長及び副会長の選任について (2) 会議録の署名人の任命について (3) 嵐山町総合戦略の検証と今後の事業について (4) その他 6 閉 会					
公開・非公開の別	公開	傍聴者数	1 人			
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	/		委 員	清水 正幸	出
	副会長	/		委 員	安岡 良浩	出
	委 員	伊藤 武雄	出	委 員	鹿倉 貞二	欠
	委 員	大塚 基氏	出	委 員	内田 方巳	出
	委 員	新井 茂	欠	委 員	荒井 忠正	出
	委 員	松本 勉	出	委 員	秋葉 正幸	出
	委 員	内田 奈芳美	欠	委 員	青木 裕子	出
	委 員	山田 朋美	出	委 員	宮本 紀子	出
	委 員	松村 克彦	出	委 員	田中 操	出
	岩澤町長					
事 務 局	地域支援課長 青木 務					
	地域支援課副課長 伊藤 恵一郎					
	地域支援課主査 松浦 一高					

次 第	顛 末 (要点筆記)
1 開 会	青木地域支援課長
2 任命書交付	町長より任命書を交付した。
3 あいさつ	<p>(岩澤町長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口ビジョン及び総合戦略につきましても、昨年度に策定へ向けて全国各地で知恵の出し比べを行いました。嵐山町でも多くの方々の協力を得ながら、お知恵をいただいて策定をすることができました。</li> <li>・ 現在は計画を粛々と進めているところではございますが、当初の計画通りに進んでいるもの、苦戦をしている部分を皆様にご報告させていただき、計画の検証・見直しを行っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</li> </ul>
4 委員紹介、事務局紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各委員より自己紹介を行った。</li> <li>・ 事務局の紹介を行った。</li> </ul>
5 議 題	<p>(1) 会長及び副会長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会長が決定するまでの間、町長が議事の進行を行う。</li> <li>・ 町長より会長の互選を諮る。</li> </ul> <p>(選出及び立候補等なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町長より総合戦略策定委員会の会長、副会長を検証委員会においても同じく会長、副会長に選任することについて意見を求める。</li> <li>— 異議等なし —</li> <li>・ 事務局より総合戦略策定委員会の会長に内田方巳氏、副会長に新井茂氏が就任いただいていたことを説明した。</li> <li>・ それでは、会長には席を移って頂き、ご挨拶をお願いします。</li> <li>・ 内田会長より挨拶いただいた。</li> </ul> <p>(町長により他の公務のため退席)</p> <p>(2) 会議録の署名人の任命について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内田会長が議長となり、議事の進行を行う。</li> <li>・ 事務局より名簿順でお願いしたいとの説明を行い、伊藤武雄委員と大塚基氏委員を議事録署名人として決定した。</li> </ul> <p>(3) 嵐山町総合戦略の検証と今後の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局より資料1、資料2、資料3について説明を行った。</li> </ul>

(内田会長)

- ・ 何かご意見がありますか。

(事務局)

- ・ まず、本日欠席された内田先生より、前もって意見を頂いています。お手元に配布しておりますが、読み上げさせていただきます。

○「地域活性化チーム」について：

すでに活動している団体がいるならば、その情報を共有し、協力することができるようなデータベース及び顔合わせの機会が必要なのではないかと考えます。また、団体は必ずしも嵐山町内のみで活動している団体に限る必要は無く、広域で活動している団体があれば、そういったところとも連絡を取り、ボランティアやNPOの現場で不足していることを聞き取る必要があるのではないのでしょうか。一からコーディネーターやチームを形成するのは、時間がかかりかかることかと思しますので、すでに活発な動きをされている方を発掘することが重要なのではと思います。

○実態把握について：

また、他の施策とも共通して言えることなのですが、動いてもらうには「何を提供すればいいのか」ということに加えて、「何が阻害要因となっているのか」を明らかにすることが必要かと思えます。資金がないからやらないというよりも、なにか手続き的な阻害要因があってやれないということもあるのではないかと考えますので、これは住民や地権者の積極的な参加を促すことを目指す施策において全体的な課題かと思えます。

○ストーリーと回遊性づくり：

杉山城跡も含め、すばらしい資源があまり知られていないのはもったいないことかと思えます。その背後にあるストーリーの「ほんものさ」をPRする演出が必要かと感じます。また、点在する資源の間の回遊性を目に見える形で示してもらえると、訪れるモチベーションとなるかと思えます。それは空間的回遊性だけでなく、一日を過ごす場合の活動としてのつながりも含めて、地域資源をアピールいただければと思います。また、歴史は必ずしも古代や近世だけではなく、昭和の「歴史」もあります。負の遺産のように思われているところが実はアピールによって資源になるということは近年の活動として多く見られることかと思えます。そのところを、チームの中で議論いただければ、実際おもしろくなるのではないかと考えますし、駅前への活用にもつながるのではないかと期待します。

以上です。

(内田会長)

- ・ 何かご意見がありますか。

(宮本委員)

- ・ 千年の苑事業についてですが、ラベンダーの咲く時期だけではなく、年間を通して活用することが出来るような施設にしていただければと思います。
- ・ 嵐山町には特殊技能を持っている人が多くいます。そのような方の力を活用いただいて、来た方に体験や学ぶ機会を提供するなどのプログラムを考えていただければと思います。
- ・ 来場する人が摘み取り体験ができたり、子ども達が道具を使った遊びではなく、どろんこ遊びなど、のびやかに遊べ、それを見守る親やお年寄りが木陰の下でのんびりと過ごせるような場所にしていだきたいです。
- ・ ポイントは、人がいることだと思います。おもてなしをする人がおり、おもてなしする側も役に立つことで生きがいにもつながります。その横のつながり、立体的なつながりが必要だと思います。
- ・ 杉山城跡についても、単に史跡というだけでなく、説明する人がいたり、歴史や時代背景が見えてくるような工夫をしていただきたいと思います。
- ・ 武蔵嵐山駅前にはコンビニエンスストアなどがなく、ちょっとした買い物もできないので、嵐山町に来た人が買い物などできるような施設があれば喜ばれると思います。

(松村委員)

- ・ ラベンダー観光農園の整備には、地方創生加速化交付金で全てまかなうことが可能なのでしょうか。

(事務局)

- ・ 備品については地方創生加速化交付金の対象となりましたが、ハード事業については地方創生加速化交付金の対象外となってしまいました。管理用建物や駐車場等については平成29年度以降の計画となっているため、財源については今後検討していきます。

(松村委員)

- ・ 資金調達の手段にはクラウドファンディングという選択もあります。クラウドファンディングには資金を集める手段という他に、インターネットを使ったPRの側面もあり、事業を応援したいという人達を増やす効果が期待できます。

(事務局)

- ・ 町が主体となって行うということは難しいと思いますが、民間が行うということは可能だと思います。千年の苑事業に関係する方が、ラベンダーを使った6次産業化を行おうという際には、クラウドフ

アウンディングを活用することも視野に入れながら検討する必要があると考えています。

(宮本委員)

- ・ 国からの補助金を得ることができれば、他の支援というのでも受けることができるのでしょうか。今回補助対象外のものについては、企業からの支援などをうけることができるのではないのでしょうか。

(事務局)

- ・ 国の補助金については対象事業が決まっており、他のものについては使えません。

(内田会長)

- ・ 千年の苑の整備は加速化交付金の助成がつくことになりましたが、観光施設自体の整備を進めてもトイレや駐車場がないという状況となってしまいます。杉山城跡についても、トイレも駐車場もありません。そういった面についても整備していく必要があるのではないのでしょうか。

(事務局)

- ・ 今回の加速化交付金には、駐車場の整備も含めて国に提案したのですが、補助事業の対象外となってしまいました。
- ・ 杉山城跡については、来年度から保存計画を作っていくのですが、保存計画に位置付けて整備計画が認められれば、文化財の整備として補助金の採択をうけることができるようになります。しかし、手順を踏んでいく必要があるためすぐには実施できないとのこと。
- ・ 駐車場やトイレの整備には、多額の費用が掛かるため、町の単独費で整備するのは財政的に厳しい状況です。

(内田会長)

- ・ 「まち・ひと・しごと」の住民意識調査でも、交通の便の不満度は高いという結果でした。ほとんどの方は車で観光にやってきます。観光地化するというのであれば、観光施設の整備はもちろんですが、同時に観光地の交通などの環境面についても考える必要があるのではないのでしょうか。

(事務局)

- ・ 交通の便の不満度ですが、前年度生活交通に関する基礎調査を実施しました。その中では、ほとんどの方が普段外出するのに車を使用しており、今現在不便であるという状況ではなく、将来的に自動車を手放した際に、バスなどの公共交通機関が十分ではないため、生活交通の不安や不便が潜在しているという結果でした。
- ・ しかし、嵐山町においては、バス交通は、地形的にも実情に合わず、利用者が少なくなるという結果が出ているため、オンデマンド交通

や既存のタクシー補助が考えられますが、現時点で困っている方に対しては、タクシー補助が最も有効であると思われます。

- ・現在の嵐山町は、交通の不便さがゆっくりと進行している状況なので、状況を見ながら対策を打っていきたいと考えています。

(内田会長)

- ・現在のバーベキュー場がなぜ関東で1番の人気なのかという、きれいな河原とトイレがあって、駐車場が広く整備されているということが評価されているからだと思います。千年の苑が整備されても、そのような面が不便であると観光客は敬遠してしまうのではないのでしょうか。

(事務局長)

- ・今回の加速化交付金では駐車場の整備費は補助の対象外となってしまいましたが、駐車場も必要と考えており、確保の手法について検討したうえで対応する必要があると考えています。

(宮本委員)

- ・商工会に対しての地方創生の方策についてお聞きしたいのですが、嵐山町の商店が少なくなっている状況ですので、地方創生の取り組みとして出来ることというのはどのようなものがありますか。

(事務局)

- ・10月からお願いする予定のコーディネーターには、町外に出て販路の拡大も行っていくような活動を依頼したいと考えており、商工会と足並みをそろえて取り組んでいってほしいと考えております。町内の商店や技術を持った方を嵐山町の外に売り込んでもらうことで、活性化が商工会に波及していければと思います。

(青木委員)

- ・町の様々なところで地方創生が動き出したと感じられます。駅の嵐丸ひろばやラッピングによって駅が素敵になり、観光面では千年の苑事業が始まろうとしています。防犯の面でも外灯がLED化して防犯対策が進んだという印象を持ちました。また、耕作放棄地が心配という状況ですが、農地バンクの回覧が回ってきて、農地の有効活用も進んできたと感じました。
- ・しかし駅自体はきれいになりましたが、駅の周辺の土地の有効活用についてはこれからの課題です。埼玉大学の内田準教授の意見にもありましたが、阻害要因は何かを明らかにすることが必要です。一体何が問題となっているのか、地権者や住民を含めてじっくりと検証を行う必要があると思います。
- ・駅の周りが整備されれば、そこにストーリーと回遊性のあるまち巡りの拠点を置くことができるのではないのでしょうか。
- ・またコーディネーターについてですが、どのような方が中心的存在

になって、どのような方向性をもって活性化チームが動いていくのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

- ・ 以前役場の文化財担当の方に、様々な場所の文化財を解説してもらいながら案内していただいたことがありましたが、歴史や文化などのストーリー性を感じるようなお話を聞くことができました。歴史と場所をつなげることができるようなストーリーと回遊性を生み出すことができるようコーディネーターには期待したいと思います。それには、参考となるような活動をしている団体などにアドバイスをもらうのも良いと思います。

(秋葉委員)

- ・ 転入者増加推進事業というのはどのような内容のものでしょうか。

(事務局)

- ・ 町外から住宅を購入して引っ越してきた子育て世代の転入者に新築住宅なら 20 万円、中古住宅なら 10 万円に加え、子ども一人当たり 5 万円を加算して支給するというものです。

(秋葉委員)

- ・ 嵐山町独自の取組なのでしょうか。

(事務局)

- ・ 近隣では、行田市、吉見町、長瀬町で行っております。

(秋葉委員)

- ・ 人口が減少している状況で、子どもや転入者を増やすためには、滑川町で行われている給食費無料化のような画期的な施策を行わないと人口増を図ることは難しいのではないのでしょうか。
- ・ 先ほど、商店についての話がありましたが、人が少なくなる状況では、商売は先細りとなってしまいます。嵐山町はアパートが多く建てられていますが、アパートでは定住になかなかつなげていかないと思います。住宅建築を後押しするようなことを考えていただきたいと思います。住環境の充実のために子ども達が遊べるような公園があると住宅購入につながるのではないのでしょうか。
- ・ 嵐山町北部には広い土地が多くあるので、開発して人を呼び込むことが可能だと思います。北部を循環するバスが廃止となっていましたが、町でバスを整備しようとすると多額の費用がかかります。テーマパークやショッピングモールを誘致することができれば、民間の資金を活用して、駅からの送迎バスなども整備されると思います。
- ・ 杉山城跡に訪れた人たちが、大型バスで観光に来て、お昼を食べようとしても食べる場所がないため、町外で食事をしてしまいます。大型バスで立ち寄ることができるような施設ができるとよいと思います。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東松山市では今年 2 回ギネス記録に挑戦するイベントを行っています。町から P T A や商工会に働きかけてイベントを行い、メディアを利用して嵐山町を P R することも考えたほうが良いのではないのでしょうか。</li> </ul> <p>(荒井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まず嵐山町を P R することが大切です。節分の日に行われる鬼鎮神社の豆まきは NHK のラジオに 6 回放送していただき、全国的に知っていただくことができました。</li> <li>・ 千年の苑事業については計画どおり整備していただき、駐車場については多くの人に知っていただいてから進めてもいいのではないのでしょうか。イメージが形になれば発信することができます。まずはラベンダーが一面に広がる光景を作り、それをインターネットやメディアを活用して広めていけば、人が集まり、発展していくと思います。</li> </ul> <p>(田中委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千年の苑によって転入促進を狙っているのであれば、若い年齢層に響くような施設にさせていただきたいと思います。</li> </ul> <p>(内田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他ご意見等ありますか。</li> </ul> <p style="text-align: center;">—意見等なし—</p> <p>(4) その他</p> <p>(内田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 年に 1 回の会議ですので、また各委員から意見等ありましたら、それを受け付ける窓口を設けていただき、意見を反映することができるような体制を作っていただきたいと思います。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見等につきましては、地域支援課の窓口で随時受け付けますので、よろしく願いいたします。</li> </ul>
6 閉会	青木事務局長
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p style="text-align: center;">平成 2 8 年 8 月 2 4 日 署名委員 <u>伊藤 武雄</u></p> <p style="text-align: center;">平成 2 8 年 8 月 2 3 日 署名委員 <u>大塚 基氏</u></p>	